

社員の“心”を理解できれば、眠っている“社員の力”を“案”に引き出せる

“人の力”で迫り来る危機・逆境を乗り越えよう！

世界経済の既存の枠組みが大きな変貌を遂げようとしています。その中でわが国では東日本大震災が発生し、甚大な被害が収束することなく続いております。国の財政もこのまま進めば危機的な状態になるとも言われています。一方、産業界も厳しさが増えています。賃上げどころか事業の安定経営すら困難な状況にある企業も少なくありません。日本が真に復興を遂げるには長いトンネルが続くことが考えられます。

今、産業界の中で求められていることは、マイナス発想を断ち切り、ものごとが明るく転じていく思考を持ち、経営者・経営幹部が中心となって、それぞれがリーダーシップを発揮することではないでしょうか。人間は、逆境を乗り越えるときにこそ最大限の力を発揮し、生きる喜びを感じるものです。

- ★ 困難な経営状況にあっても、モチベーションを高め、結果を出す、働き甲斐とは？
- ★ 存亡が問われるような厳しい状況に打ち勝つ、自律した個（ヒト）と組織にするには経営者から従業員のひとりひとりまでがどのようなことを実践すればよいか？
- ★ キャリアを積み逆境を乗り越える「人間力」を身につけるとはどのようなことか？
- ★ ストレスの高い職場を明るく活力ある職場にどのように変革するか？

それぞれの分野をまじめに研究し、実践されている出演者の皆様にひもといて頂き、参加者の皆様の力となればと考えております。

■ 第1部 講演 (各先生30分)

- ・ 弱いきづな（紐帯）と人間力：キャリアの観点から
- ・ 働く中で幸福を見いだす感性を磨け
- ・ 助け合う職場づくりのための個人と組織の行動変容
- ・ 人間力ある経営とは

諏訪 康雄 (法政大学大学院教授・政策創造研究科)
小田 全宏 (ルネッサンスユニバーシティ代表取締役)
和田 耕治 (北里大学医学部衛生学公衆衛生学講師・医学博士)
佐々木常夫 (東レ経営研究所・特別顧問)

■ 第2部 シンポジウム

テーマ <東日本大震災 復興支援> 迫りくる危機 逆境を乗り越える力 人間力

コーディネーター 川西唯道 (リーガルネットワーク株式会社代表取締役)

パネラー紹介



諏訪康雄(すわやすお) 法政大学大学院政策創造研究科教授

1947(昭和22)年東京生まれ。70年、一橋大学法学部を卒業。イタリアのボローニャ大学に留学した後、77年に東京大学大学院法学政治学研究科博士課程の単位を取得し、満期退学。法政大学社会学部専任講師、同助教授、法政大学社会学部教授、ニュー・サウス・ウェールズ大学客員研究員、ボローニャ大学客員教授、トレント大学客員教授などを歴任。2008年から法政大学大学院政策創造研究科教授に就任。

著書に「雇用と法」(放送大学教育振興会)、「労使コミュニケーションと法」(日本労使関係研究協会)など

和田耕治(わだこうじ) 北里大学医学部公衆衛生学講師

1975年北九州市生まれ。2000年産業医科大学医学部卒業、臨床研修医、企業での専属産業医を経て、2006年カナダ国マギル大学産業保健修士、ポストドクトラルフェロー、北里大学大学院博士課程修了(医学博士)。厚生労働省新型インフルエンザ専門家会議委員(現在は作業班員)、日本医師会勤務医の健康支援に関するプロジェクト委員、ILO/WHOコンサルタント。働く人の健康を守る産業保健の観点から、健康で生産性が高まる組織作りに取り組む。

著書に「医療従事者が知っておきたい被災者や自分を守るためのポイント集(仮)」(中外医学社、2011)、「臨床医のためのパブリックヘルス」(中外医学社、2010)、「インフルエンザにかからない暮らし方」(PHP、2009)、「企業における新型インフルエンザマニュアル」(東洋経済新報社、2008)など

佐々木常夫(ささきつねお) 東レ経営研究所・特別顧問

1944年秋田市生まれ。6歳で父を亡くし、4人兄弟の次男として母の手ひとつで育つ。1969年東大経済学部卒業、同年東レに入社。自閉症の長男に続き、年子の次男、年子の長女が誕生。自閉症の長男にはそれなりに手はかかるものの総じて幸せな家庭であったが、妻が肝臓病で何回かの入院を繰り返す中うつ病を併発、特に'97年から'03年の7年間で40回もの入院をし、3度の自殺未遂をする。このような家庭状況ではあったが会社とはいうと、大阪・東京と6度の転勤、破綻会社の再建やさまざまな事業改革など多忙を極めそれに対して全力で取り組む生活であった。その実績が認められ、2001年、東レ同期トップで取締役となり、2003年より東レ経営研究所社長となる。何度かの事業改革の実行や3代の社長に仕えた経験から独特の経営観をもち、現在経営者育成のプログラムの講師などを実践している。一方、社外業務としては内閣府の審議会委員、大阪大学客員教授などの公職も歴任する。

著書に「そうか君は課長になったのか」(WAVE出版)、「働く君に贈る25の言葉」(WAVE出版)など

小田全宏(おだぜんこう) ルネッサンス・ユニバーシティ代表取締役

1958年、滋賀県彦根市生まれ。東京大学法学部卒業後、松下幸之助翁の指導のもと、人間学を研究。数多くの企業やセミナーの場において、参加者の脳を活性化させ、人生の転機となる「気づき」を与える人材教育実践活動を行う。また、アクティブブレイン協会の会長として、「記憶法」を通じ人間の脳が本来持つ可能性を引き出す講義を行なっている。

音楽の造詣も深く、2011年2月サントリーホール・大ホールにて超満員の中、自身の作曲による交響組曲「大和」を指揮。現在、富士山を世界遺産にする国民会議(会長・元内閣総理大臣中曽根康弘氏)の運営委員長として2013年の世界遺産登録に向け東奔西走中。

(株)ルネッサンス・ユニバーシティ代表取締役、NPO法人日本政策フロンティア・理事長、リンカーン・フォーラム・創始者、NPO法人 富士山を世界遺産にする国民会議・運営委員会委員長

電話・FAXまたはホームページからお申し込みいただけます

電話 06(6384)2228

ホームページ <http://www.legal-network.co.jp>

申込書 (FAX用)

FAX 06-6384-5111

会社名 フリガナ	(部署)	(役職)	お申し込みのチケット枚数
お名前			
会社所在地 〒	〒	〒	枚
電話 ()	FAX ()	E-mail @	

※お申し込み後に受講票・請求書・振込用紙をご送付いたします